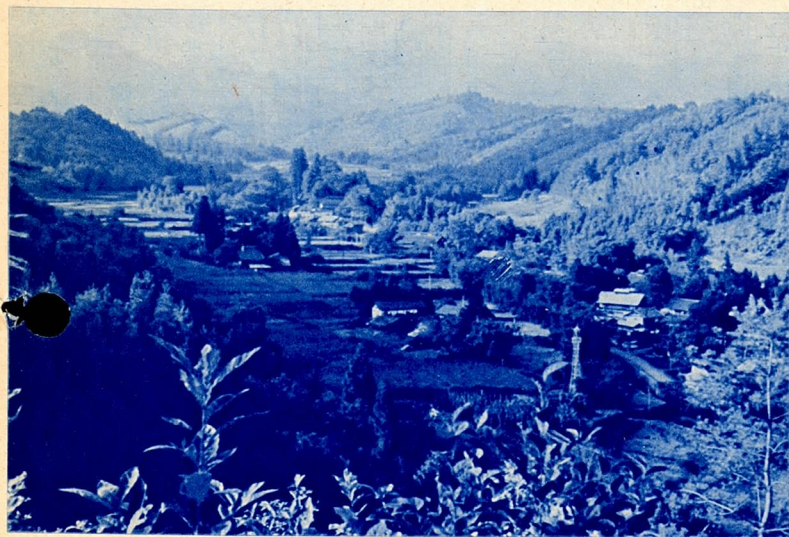


# 懸賞応募入選第一位

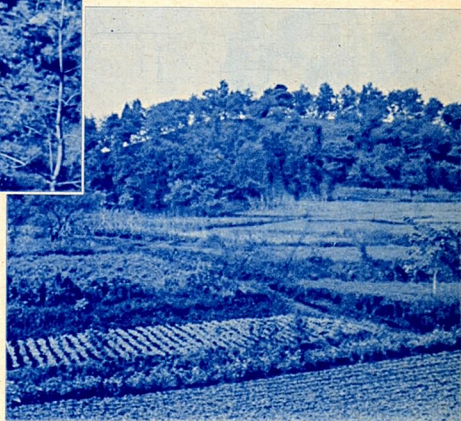
群馬県箕郷町松の沢146

清水謙親さんの経営



私の部落は戸数40 人口約260 前後を山に囲まれた南北2kmの列村で 榛名山えは10km 高崎 前橋えは18km位の北関東山麓の純農村地帯です

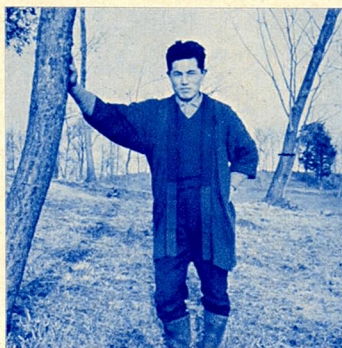
低いところは水田(一戸平均50a) 丘陵地は畑(平均1.5ha)で水稻 大小麦 陸稲 養蚕 畜産 山林経営などで生計が営まれています



我が家は養蚕と穀菽農業で伸びず縮まざるの経営で 昭和32年頃から繭価は3.75kg 800円の安値となり 水田も少く 化学肥料の多用で畑の生産力も行き詰りの状態を感じるようになりました

一方食生活の向上 嗜好の変化から 果物や畜産物の需要が増え 村にも養鶏 豚 酪農など順次導入され 折しも埼玉県在住の猶原恭爾理博のご指導もあつて 私が放牧形式による本格的酪農に踏み切つたのは昭和34年でした

こうしてもともと和牛など好きだった我が家は真剣に草づくり飼料づくりに取り組むことになりました



## 家族構成

祖母 父母 私(30才) 妻  
息子(小学校と幼稚園の2人)

## 家畜状況

搾乳牛8 未経産牛2 育成牛1  
和牛2(成牝 牝犢)

## 耕地

水田15a 畑2.8ha(普通畑 飼料畑 牧草地) 桑園30a  
放牧地4ha 山竹林3ha



# 経営の基本方針

足かけ7年の体験

『牛は草で飼え』



- (1) 放牧によつて健康な牛を作る
  - 未開発の資源を開発し 自給率を高める
  - 充分な運動により 繁殖障害を出さない
  - 高能力牛群の育成により 効率のある経営
- (2) 貴重な労力は越冬飼料の確保に
  - 5~10月の青草期は終日放牧
  - 8~10月は青刈粗飼料で補食させる
  - 11~4月はエンシレージと根菜を主に
  - 労力のゆるす限り乾草作りに努める
- (3) 成牛の導入はさけ 山に合った牛を自家養成する

## 当场唯一の導入基礎牛

乳器は良くないが 比較的乳量多く  
健康で産仔も牝多く 受胎率高い  
今まで8産して垂れ乳の牛も出来ずよく  
働いてくれます



## 乳牛を私はこう考えます

砥がずに切れる鎌と 休んだり  
遅れたりしないベルトコンベアー  
のような喉 いつもはちきれる程  
入れることのできるワゴンを持つ  
た腹 どんな急傾斜面にも驚ろか  
ない強靱な足 猫のようにおとな  
しい性質をもつた良い友達で し  
かも精密な機械だと

## 草地改

- ◎ 改良の方針は いそがずあせらず牛の歩みに似た段階的な方法をとる
- ◎ 用地は山林 原野でPHは4 傾斜は最高28~30° 15年生の櫟 檜などオール当り150石の薪炭用林 落葉は堆肥の原料としていた その外は笹 のばら さんしょ たら はぎ わらび ぜんまい かや 柴の類が生えていた
- ① 放牧地に柵を打ち有刺鉄線三段張りとして牛を入れる
- ② 表土の流亡防止のため石炭ガラを投入 小指頭大から小児拳大のもの4haの山え1回目6t 峯の稜線など高いところえ重点にばらまく 2回目2t 同様に 今後も続ける予定
- ③ 冬期に間伐する 山は一度で裸山にならぬように気をつけて林木を伐る
- ④ 夏刈りの励行 特に過放牧の状態で牛を入れたので不良野草の消滅は早



冬期飼料の確保のためには デントコーン牧草類 かぶを主体として栽培する 種子の手当は雪印種苗え早目に行う 品切れになると困るからだ

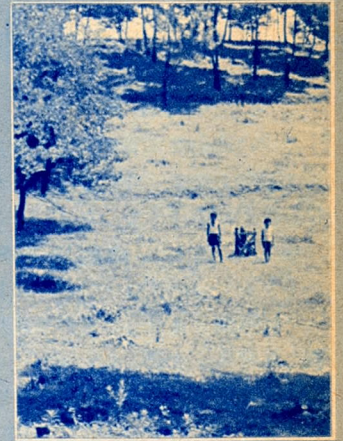


## 飼料作物栽培は雪印のたねで



デントコーン……ホホワイトデント エローデント  
 燕 麥……太豊 豊葉  
 か ぶ……下総かぶ  
 牧 草……雪印改良オーチャード ラデノクロバー ニュージ  
 ランドホワイト マンモスペレニアルライ ルーサン・デュ  
 ピー ベントグラス ケンタッキーブルーグラス ケンタッ  
 キー31フェスク レッドトップ 赤クロバー・ケンランド  
 ・ベンスコット ウィーピングラブグラス  
 他に……ライ麦 テオシント

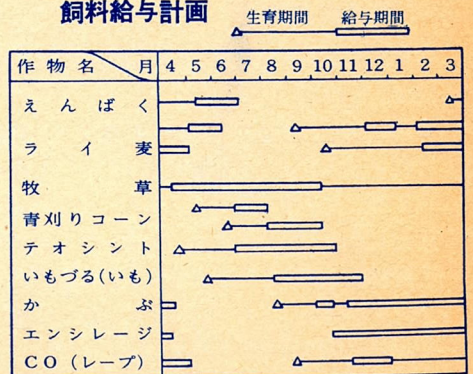
牛は天候気象に応じて最も都合の良いところへ移動する(上) 流亡の激しい傾斜地はウィーピングラブグラスで土どめする(中) 放牧地には尿撒布の配管があり中央に取出口を設けてある(右)



### 実際

- ⑤ 地表面をかき廻すことは絶対避ける 当地は榛名山麓で 夏俄雨 雷雨が多く又土質は軽いので表土の流亡が起り易いから
- ⑥ 牧草の導入は地力の培養をはかってから 牛の自然排糞尿や 堆肥の投入により地力をつける
- ⑦ 雪印種苗推奨の堆肥団子法は利用効率高い 放牧開始二年目にオーチャード 白クロバー ケンタッキー31フェスク レッドトップ を堆肥団子の中に入れて播種したが青々と繁茂してきた
- ⑧ 傾斜地にはウィーピングラブグラスを使って土どめとする 間伐が進み陽あたりの良いところから実施
- ⑨ 充分肥沃化したら更に全面的に牧草の播種を行なう

### 飼料給与計画



# 冬期の多汁質飼料は下総かぶ



## かぶの栽培

**前作** エンシレージ用デントコーン跡を使用  
**播種期** 8月20日より9月1日まで  
 これより遅れる場合はC・O ライ麦に転換する  
**播種法** 畦幅65又は90cm 株間30cm  
 堆肥側方の点播 3.3m<sup>2</sup>当り13~16株  
**施肥量** 堆肥2t 金肥60kg 追肥は尿素又は硫安30kg

**管理** 播種後25日位で間引 中耕 追肥 除草 更に20日後二回目間引  
**収穫** 11月上旬より4月上旬まで 成牛1頭1日50kg位宛給与する



## C・Oの生育ぶり

かぶは間引など管理労力が相当かかるがC・Oは追肥と中耕一回ですむので必ず栽培します 昨年などは余る程増収されたのでライ麦と共にエンシレージにしたが結構使えました

## デントコーンの栽培基準

エンシレージ用デントコーンの栽培は **前作** 下総かぶの跡又は小麦の作條中に **播種期** 4月20日より5月上旬 **播種法** 畦幅90cm株間30cm **施肥料** 堆肥2t 金肥(8.8.5配合)60kg 追肥尿素を30kg **管理** 5月下旬間引 6月上旬第一回中耕除草と追肥 7月上旬第二回中耕 **収穫** は8月1日より なお青刈用コーン作りとしては **播種期**は他作物との関係で様ではないが 畦巾70cmの條播で 種子は10a 7~8kg使用します 窒素質肥料を多くして播種後50日位より順次青刈り給与します



## 施設の概要

本宅と畜舎放牧地は約1,000m離れているのでまたぎの生活をしている

- イ 本宅は本屋、旧畜舎 土蔵、物置などで延約450m<sup>2</sup>
- ロ 新畜舎205m<sup>2</sup> 車庫兼物置33m<sup>2</sup> 仮炊事場など20m<sup>2</sup>
- ハ サイロ 大小各2基
- ニ 尿溜3.3×3.6×2.4m 尿ポンプ ヒドロポンプ1 定置配管 本管150m支線250mで立上り5カ所 ホース90m これで約8haに撒水可能
- ホ ミルカー1 電牧器1

## むすび

さわやかな緑の風とカッコーの啼く牧場を求めて 牛と共に山へ入つて6年になりました ふりかえてみると我が家の酪農は放牧に明け放牧に暮れるものといえましょう すぐれた自動機械——牛に十分働かせて貴重な労力はすべて冬越しのえさ作りに投入しています これからは草地改良した永年牧草地を輪換形式にもってゆきたいと準備をすすめています 「あせらず つまづかず そして一歩一歩着実に」と心に念じつつ 言い古された言葉ですが 「妻や子の唇に歌」の通り明るい暮しを期待して子供らも喜んで後が継げるよう頑張りたいと思います